

女性の在宅ワーカー・高度デジタル人材育成講座【八代市】



個別事業費	2,511 千円
交付金額	1,681 千円

地域の実情と課題

国勢調査（令和2年）によると、八代市の30～50代女性の就労率は男性と比較し10%程度下振れしている。一方、令和4年男女共同参画に関する市民意識調査では、「子供ができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」と回答した割合が60.8%と最も高く、この傾向は年々増加している。こうした状況を踏まえて、女性の能力向上のための機会の創出を図るとともに、出産後も継続して働き続けることができる環境整備が求められる。また、本市は製造業・建設業中心で女性労働者率が低く、勤務体系などから女性が働き続けにくい構造がある。ICT活用や企業誘致、人材育成を進めているが、企業と人材のマッチングは不十分である。

事業の特徴

講座名：「働きたい女性のためのAI・デジタル講座」
 講座運営委託事業者：BizMow(株)
 内容：女性がライフイベントを経ても自分らしく働き続けられる高度デジタル人材育成を目指し、オンラインと対面のハイブリッド形式で全16回の講座を実施。内容は、生成AI、クラウドツール、オンラインビジネススキルなど、現場で活かせる実践的なテーマを中心に構成。また、単なる講座運営にとどまらず、応募時・講座開始時に個別面談を行い、受講者一人ひとりに寄り添った支援を重視した点も本事業の特徴である。講座の修了後は地元企業とのマッチング会（事業番号②）を開催し、受講生が講座終了後も在宅ワーカー・高度デジタル人材として地元で活躍し続けることを推進した。

事業の効果

・ **在宅ワーカー・デジタル関連就労率 100%達成!**

事務系就労・起業・在宅ワークなど、修了生の全員が在宅ワーカー・高度デジタル人材としての具体的なキャリアを形成。関連就業率は目標70%を大きく上回る成果を達成した。



目的・目標

過去3年間実施した「在宅ワーカー養成講座」を刷新し、DXや先端IT技術を習得する講座を実施することで、高度デジタル人材としての女性の育成を目指す。また、地元企業の参画により、企業へ受講生の能力を周知することで、地元採用の促進とミスマッチの防止、また、地元企業のデジタル化を牽引する人材の輩出を目的とする。

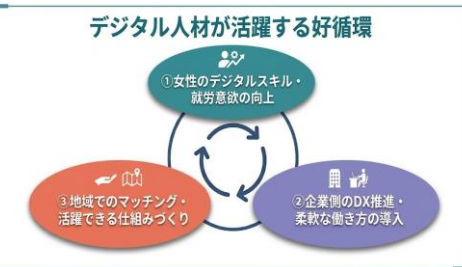
	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	女性が社会で活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合	24.4% (アウトカム)	27.7% (R8年3月時点)	114%
事業KPI	受講生の在宅ワーカー・高度デジタル人材関連就業率	70% (アウトカム)	100%	143%

連携団体

芦北町、熊本労働局（ハローワークやつしろ）

今後の課題

第3次八代市男女共同参画計画に基づいた多角的な取組により、女性の働きやすさに対する市民意識は高まっている一方、地域企業側では業務委託や在宅勤務など柔軟な働き方の導入が不十分で、デジタル人材が活躍できる場が限られている。ミスマッチ解消には企業の意識改革と環境整備が不可欠である。一過性で終わらない事業検討も求められる。今後は企業向けDX推進と働き方改革を促し、女性が学んだスキルを地域で活かせる体制づくりを行っていく。



事業の概要

女性の在宅ワーカー・高度デジタル人材育成講座 ～働きたい女性のためのAI・デジタル講座～

働きたくても働けない女性を対象にデジタルスキル向上講座を実施し、高度デジタル人材を育成。変化の激しい時代においても女性が自分らしく働き続けるための在宅ワーカー・高度デジタル人材の育成を目指した。

働きたい女性のためのAI・デジタル講座

令和7年8月19日（火）

～令和8年1月28日（水）

対象者：八代市在住の18～55歳の女性

受講料：3万円

受講者：9名

実施形式：全16回のカリキュラムを実施。

対面講座 120分×2回

オンライン講座 120分×14回

実施内容：生成AI、クラウドアプリケーション、

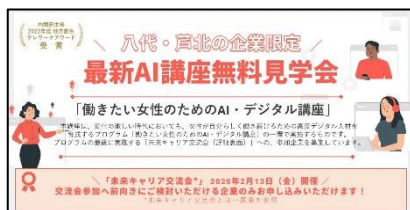
オンラインコミュニケーション など

実務に即した内容を中心に構築。講座内容に合わせ、習熟度別クラス編成や、アーカイブ配信を活用し、個々のペースで深い学びが得られる環境を整えた。

▼受講生募集チラシ



◀毎講座の最後に受講生と講師とでポーズをとり撮影（スクリーンショット）。オンライン環境での一体感を醸成した。（※イメージ図）



▲オペザーバー-募集用チラシ（抜粋）

講座終了後、修了生の就労マッチングを実施

未来キャリア交流会（事業番号②参照）

令和8年2月13日（金）13：30～16：30

STEP 1 講座受講



八代市が令和4年から3年間実施してきた「在宅ワーカー養成講座」をリニューアルし、生成AIやクラウドアプリケーション等の先端ITスキルを身に付けることができるカリキュラムを追加した講座を実施。

STEP 2 地域企業が講座へ参画



地元企業（本市誘致企業、市に隣接する芦北町の企業など）がオペザーバーとして講座に参画。講義の内容を実務に沿って高度化するとともに、受講生の地元企業への採用につなげる。

STEP 3 修了生と地元企業とのマッチング（事業番号②）

デジタル人材としての学びを得た講座修了生と、デジタル人材を求める地元企業との相互のコミュニケーションの機会を創出。ミスマッチがない採用や業務受託につなげ、雇用の確保と定着を図る。

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	女性が社会で活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合	24.4% （アウトカム）	27.7% （R8年3月時点）	114%
事業KPI	受講生の在宅ワーカー・高度デジタル人材関連就業率	70% （アウトカム）	100%	143%